



学校だより

バンクーバー補習授業校

2026年度

第10号

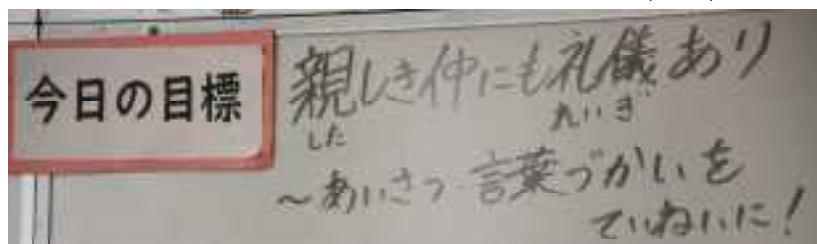
2026・9・23

人とつながり、学ぶ意味を感じる学校へ・・・

～ ルールとお互いを尊重する心 ～

各教室の掲示物や黑板に、子どもたちが大切にしたいことが、さまざまな言葉で表されています。

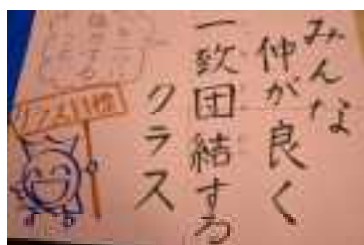
「心を一つに協力すること」
「みんなが仲良く一致団結する」
「親しき仲にも礼儀あり」
「お互いを大切にし、一年間楽しかったと思えるクラス」



↑ ある日の小6教室の板書から

こうした言葉には、本校で大切にしたい教育の姿が表れています。

学校は、多くの子どもたちがともに学ぶ集団の場です。だからこそ、そこには一定のルールや規範が必要です。人の話を聞く、相手を傷つける言葉を使わない、時間や約束を守る、周囲のことを考えて行動する。こうした基本が守られてこそ、誰もが安心して過ごすことのできる教室になります。



↑ 小4 学級目標

そして、その安心感があるからこそ、自分の考えを伝えようとする気持ちも生まれます。自分が話せば聞いてくれる人がいる。自分の考えを受け止め、尊重してくれる人がいる。自分も相手を大切にする。そうした関係の中で、子どもたちは人とつながる喜びを感じていきます。

補習校での学習は、現地校との両立や宿題など、決して楽なものではありません。だからこそ、「友達に会える」「みんなと一緒に頑張れる」「自分のことを分かってくれる人がいる」と感じられることが、学ぶことへの意味づけとなり、次への意欲にもつながります。

自分を大切にし、相手も大切にする。
ルールを守り、安心できる集団をつくる。
その中で人とつながり、心を通わせながら学ぶ。

本校では、教科の学力とともに、人と好ましい関係を築く力も大切に育てていきたいと考えています。



↑ 小中共通「発表のルール」

卒業生のうれしい活躍を紹介します！



このたび、本校の令和7年度高等部卒業生が、スポーツや芸術・文化の分野で情熱をもって活動し、地域社会でリーダーシップを発揮する日系ユースを支援する「Nikkei Youth Sports, Arts, Culture Bursary」を受賞されました。

先日の日系祭りでは、日本語と英語でスピーチを行い、日本からカナダへ移住した経験や、長年取り組んできた空手を通して学んだことを、自分自身の言葉で堂々と発表されました。

本校の卒業生が、自らの経験を力に変え、地域社会の中で活躍していることを大変うれしく思います。

在校生の皆さんにも、現在の補習授業校での学びや経験の一つ一つが、いつか自分自身を支える大きな力となることを感じてもらえたらと思います。

スピーチ全文など、詳しくは日系プレースのウェブサイトをご覧ください。

<https://www.nikkeiplacefoundation.org/blog/2026/9/19/nikkei-youth-bursary-2026-recipient>